

南口整備 これ以上の縮減はダメ



整備が計画されている南口の駐車場、駐輪場と現在の駅舎

◆黒井駅南口整備事業 事業費の推移 (単位：千円)

	当初計画	設計完了後	事業費を縮減した場合	
南北駅前広場整備	246,000	338,552	263,215	
用地	91,000	130,400	130,400	
	北口	18,000	60,000	60,000
	南口	73,000	70,400	70,400
	工事費	155,000	208,152	132,815
事業費変動要因	—	※用地費増 ※路床改良発生 ※乗降場上屋、トイレ設置 ※駐車場設置	※乗降場上屋設置取りやめ ※駐輪場上屋設置取りやめ	
自由通路整備	597,000	917,720	663,597	
事業費変動要因	—	※エレベーター設置 ※自由通路架設費等の増加	※エレベーター設置取りやめ ※通路幅3mに縮小 ※壁、屋根材等見直し	
JR施設支障移転	150,000	228,369	228,497	
事業費変動要因	—	※既設駅舎撤去 ※休養室移設 ※待合室、連絡通路		
合計	993,000	1,484,641	1,157,311	
財源内訳				
まちづくり交付金	386,800	578,800	473,400	
合併特別交付金	600,000	819,700	673,200	
一般財源	6,200	86,141	10,711	
地域事業費	606,200	905,841	683,911	

黒井駅南口整備事業は頸城区民の悲願

建設企業常任委員会は、12月議会で事業の見直しなどの質問が相次いだ黒井駅南口整備事業の現場を視察しました。この事業は頸城区の地域

事業です。南北をつなぐ自由通路は、頸城区の長年の悲願であり、一刻も早い完成が望まれています。また、南口の駅前広場の駐車場、駐輪場の整備も強

い要望があります。この間、地域事業費縮減の動きの中で、自由通路の幅が5メートルから3メートルに狭くされました。また、パブリックコメントで要望が出され、設置の方向で検討されていたエレベーターも削減された経過があります。

駅の昇降客の減少を理由に、事業の縮小見直しの意見が委員会で見直されましたが、この事業は頸城区の皆さんの長年の願いです。これ以上縮小することは許されません。

(上の表は、頸城区地域協議会に提出された資料です。裏面にこの事業の全体計画平面図を掲載しました。)



建設企業常任委員会が現地を視察

政治を大きく前に進める

第25回党大会に参加 上野公悦

昨年の総選挙でつくられた新しい政治状況の下で開かれる日本共産党第25回党大会が、1月13日から4日間にわたり、党の伊豆学習会館で行われました。以下は参加した上野議員の出発前のコメントです。

歴史的な時期に開かれる党大会に、新潟県の代議員の一人として出席してきます。これまでの私たちの活動が、全国の活動を大きく励ましてきたと評価されています。その経験をがんばって発言してこれららと思っています。

行ってきま〜あ!



レルヒ顕彰会盛大に

レルヒ少佐が日本にスキーを伝えて満99年になる12日、金谷山公園レルヒ像前でレルヒ少佐顕彰会式典が行われました。雨模様のあいにくの天候でしたが、来年1月は日本スキー発祥100年となることから、シンボルマークの披露も行われ、全国にスキー100年を

信じて、普及と発展を図ろうと、スキー関係者はじめ大勢の参加者で盛り上がりました。顕彰会には日本スキー発祥100周年記念事業を支援する議員の会に属する平良木議員が参加しました。一本杖スキーも披露



日本共産党上越市議員団ニュース

No.216 2010年1月17日

連絡先 橋爪 法一 548-3628 (吉川区代石)
樋口 良子 544-6802 (中門前3)
上野 公悦 530-2203 (頸城区中柳町)
平良木 哲也 525-9096 (上中田)

事業計画地



信越本線黒井駅自由通路新設工事 平面図

凡 例	
上越市負担	
東日本旅客鉄道(株)負担	



直江津駅

市道頸城2号線

南口広場

直江津方面

自由通路新設

県道小猿屋黒井停車場線

ホーム上階段新設

ホーム上家新設

駅本屋撤去

北口広場

既設跨線橋撤去

犀潟方面

湯川

